

ISOTOPE

Fri. 18 Oct. 2013

19:00open 19:30start

THE BOTTOM LINE NAGOYA



J's Bee



DO LOUISE OS



The Johnny Freelance Experience

ISOS : 同じ TOPS : 場所

J's Bee メンバー7名の音楽経歴はクラシック・ジャズ・ロック・ダブ・クラブミュージック・エレクトロ等、各メンバーそれぞれが多岐にわたり活動。Shimizu Jun が操る音の旋律に、或る時はエキゾチックで、又或る時はエネルギッシュな声の音をもつ Kawasaki Yuko。アルトサックスの Fukuyama Akiko のクールで熱い、その音は確かに語っている。ドラム Matsuyama Nobuo の渦巻く感性に加え、テクニカルなリズムで振動。ピアノ Matsunaga Yukiko のそれは、旋律の中に色彩や風景が見える。Terashima Kazumoto のギターは、相変わらずアーティストとしての音を本能でクリエート。Matsubara Kei の鍛錬されたクールな、そしてエネルギッシュに、ベース音。それぞれの個性の味が表現の一つとなり、既存のジャンルに捕われないものとなる。計画性、戦略性はない。メンバー達それぞれが持つ感覚的な。そして、即興的なところからの集合体。そのカタチは一貫して変わらず、今も尚、彼らの音はスタイリッシュな響きを持ちつつ、時に詩的であり、映像的である。「愛した太陽と海、陽気と哀愁、活気と静寂が交差する島」とヘミングウェイが言ったキューバのコト。その、陽気なリズムと哀愁のある言葉を乗せて「キューバ歌謡」というジャンルを確立させたのは**ロス・キゼオス**、尾関真と須藤祐樹二人のユニットバンド。1970年代よりそれぞれが活動をしていたブルース・ソウル・レゲエ・ロックのテイストも忘れてはいない。昨今、彼らの音はますます味わい深く、深いところで想う何かを感じさせてくれるだろう。身体を揺さぶらずにはいられないライブパフォーマンスと自由即興プレイスタイルの **The Johnny Freelance Experience**。様々なジャンルをミックスした、ユニークかつイノベティブなスペイン・バルセロナ発のバンドメンバーは小気味良くリズムに揺れるトランペットの Nicholas Domink Talvola。エネルギッシュなドラムとリズムで魅了する Didi Lezcano。巧妙かつ芸術的で魅せるヴィオリンの Mateusz Adamczyk。そしてセクシーな魅力が炸裂するボーカルの Afrika Bibang。彼らは行く先々で会場を沸かせ、魅了する。「現実的」な巧妙技術と段取り。そして、自分の中にある感動と羞恥心が衝動に駆られるかの様に「イメージーション」というものが作動する。瞬間に働く両極な行為である作業と想像。映像の世界ではそれを必要とする。**斎藤達也**の映像から、彼の目は映像の向こうにある物語を確かに感じている。その次に撮影という行為が生まれる。今回この空間で、彼は音を見つめながらいつもの職人的な技術と、私的なイメージーションを彷彿させるのだろう。音の世界に入ると、日常と非日常の狭間で錯覚に陥る時がある。**senhor kidman**の世界はいつからか音の中で生活をする。もしくは生活の中に音がある。それは、時間の存在しない音の時間。その彼の選曲する音は、誰もが陶酔と躍動を覚える。「音を企てる」そんな言葉を感じさせるその音に、何を感じる。スペインの、アルゼンチンの、エレクトロの。Jazzで、日本で、キューバで。ソウルミュージックと、オーストリアと、ブルースと。国を越え、宗教を越え、人種を越えて。ジャンルを越え、スタイルを越え、時間をも越える。この場所に、同一の位置で始まる。様々な音と映像。全ての音のジャンル、リズムを要素に加え、ここにこの場所でそれぞれのユニット音とそのシーンを映像が空間を作る。もう一つの開放がここにある、熱く、知的な。 **isotope = 同じ場所**。

ISOTOPE

ISOS:同じ TOPS:場所

LIVE

J's Bee



結成からおよそ20年。クラブシーンから派生し、代名詞となったhuman DnBからダークなアブストラクトジャズ等で、過去4枚のフルアルバム、2枚のコンセプトアルバム、2枚の12インチをKSR(日本)IRMA(イタリア)からリリース。2013年にロンドンの名門クロスオーバーレーベルFarOutRecordingsに移籍。リリース拠点をロンドンに完全に移す。2013年3月25日アルバム"ISOTOPE"をヨーロッパ、北米、南米、オセアニアでのワールドリリース。アジマス、ジョイス、マルコスヴァーリ、ニコラコンテ、ビューティールーム等が在籍する。名門レーベルから初めての日本人アーティストのリリースという事で、ヨーロッパ全域、北米、オセアニアのミュージックシーンを席巻。ヨーロッパではアルバム毎に進化をとげてきた音楽性の今作がJ's Beeの完成型と称される。現在、Laurent Garnierのクラブラジオでの繰り返し流されている。Gilles Peterson氏が3ヶ月にわたリラジオでピックアップ。イギリスBBCの他の番組でのインタビューの放送。ドイツ国営放送ARDにて特集番組の放送。その他のヨーロッパのラジオ番組でも多数とりあげられる。今冬からヨーロッパツアーもFarOutRecordingsが計画中。来年春から夏にかけてはフランス、イギリスの屋外フェス出演予定。

<http://www.jsbee.net> <https://www.facebook.com/pages/J's-Bee/134283063414197> <http://www.faroutrecordings.com/>

New Album 2013.03.25



J's Bee - isotope -

アジマス、ジョイス、サブリーナマリウエロス、ビューティールーム、ニコラコンテが在籍するロンドンの名門FAROUT RECORDINGS 移籍第一弾。ヨーロッパ全域、北米全域、中南米全域へのワールドリリース。日本ではULTRA VYBEからの輸入盤がリリース。

「再び日本から始まった JAZZは J's Beeを通して全く新しい音楽に産まれかわった...」ジャイルズ・ピーターソン (BBC 6 Music) "Japan does it again. Jazz refreshed for all to feel via J's Bee..." Gilles Peterson (BBC 6 Music) / 「最初にこのレコード聴いた時、私は大変驚いた。なんとか契約にたどりついた時には 月の向こうへと飛ばされたような気分だった。紹介してくれたKoh Uemuraにお礼を言いたい。素晴らしい歌と共に驚くべきクオリティのサウンドを持つJ's Bee。ありがとうjapanese Jazz Massive "ISOTOPE" は驚異的なアルバムだ。ジョー・デビッド (Far Out Recordings) "When I first heard the record, I was nicely surprised and after signing the record, thanks to Koh Uemura, I was over the moon.J's Bee have an amazing sound with great songs, big up the Japanese Jazz Massive, 'isotope' is a killer CD." Joe Davis (Far Out Recordings) / 「私はこのアルバムが気に入っている、最高に」ローラン・ガルニエ "I absolutely love the album" Laurent Garnier / 「ジャズ、ロック、エレクトロニカなど 様々な要素が職人技のように丁寧に織り込まれシネマティックなサウンドを作り出す。ジャンルを超えた超傑作」ULTRA VYBE-Honma Satoru / 「素晴らしいプロジェクト、是非ラジオでサポートしていくつもりです。J's Beeのニューアルバムは心から感嘆すべきアルバム。」ジェームス(オーディオテクニカ) "Lovely project, will give radio support...the new J's Bee album which truly is a thing of wonder" James (Audio Texture) / 「驚くべき素晴らしいアルバム...、ファアアウトはまたもやってくれた。彼らが凄く音楽を浮き彫りにした...、さもなければ我々は知る由もなかっただろう、素晴らしい清々しく、かつ現代的な音楽を。」ニック・ラスコム (Monocle24より) "Incredible album...Far Out have done it again, highlighted some more great music that otherwise we wouldn't know about...really refreshing and modern" Nick Luscombe (Via Monocle 24) / 「日本発信の才気溢れる新しいジャズ-素晴らしいトラック...そして美しいビデオ...」ニック・ラスコム (BBC Radio 3, Late Junction/Flomotion) "Brilliant new jazz from Japan - lovely track...and beautiful video..." Nick Luscombe (BBC Radio 3, Late Junction/ Flomotion) / 「素晴らしい映像、そしてとても洗練された音楽!彼のライブを心からみたいと思っている」マーク・サン普森 (Songlines) "Nice video - and mighty fine music! I'd love to see them live" Mark Sampson (Songlines) / 「今朝このアルバムを聴いたけど...WOW...数ヶ月はこのアルバムを中心にかけたい!」サイモン・ハリソン (Basic Soul) "...listened this morning and WOW... I'll be hammering this for months!!!" Simon Harrison (Basic Soul)

尾関氏は70年代、兄弟でブルースバンド「尾関ブラザーズ」を結成する。ソングライターとしても活躍。大阪のブルースバンド「憂歌団」から支持され、この頃「シカゴバンド」他10曲を提供する。その後もレゲエ、サルサと数多くのライブ活動を展開。須藤氏もアメリカ黒人音楽、ブルースに影響され、日本語の歌詞をブルースにのせてオリジナル曲を数々制作。名古屋、大阪、京都などで弾き語りのライブを展開。大阪のブルースバンド「憂歌団」にも「ジェリーロール・ベイカー」を提供。1994年、二人はキューバへ渡り、キューバ・ラテン音楽を体感。1996年頃、ラテンバンド「ドス・キゼオス」結成。その後の出会いにより、バンド最終メンバーは9人に。2006年・2007年、キューバ政府より「ペペ・サンチェスフェスティバル」に招待される。2008年「ドス・キゼオス」活動休止。その後、尾関氏はラテンバンド「パルマ・ソリアーノ」、同じく須藤氏も「アオラシ」を結成。2011年「アレイダ・ゲバラ緊急来日講演」で「パルマ・ソリアーノ」「アオラシ」演奏。2012年「ドス・キゼオス」結成当初に戻り再び活動を開始する。

DOS QUISEOS



The Johnny Freelance Experience

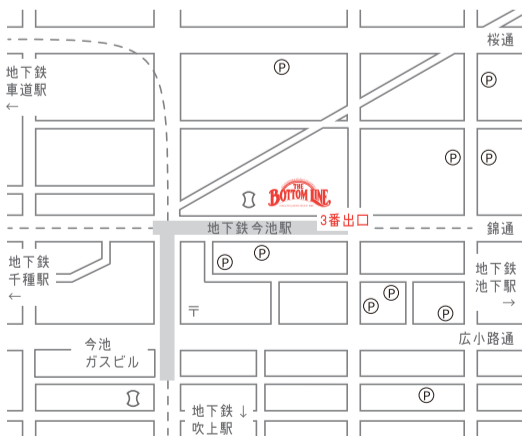


The Johnny Freelance Experienceはバルセロナを拠点とするfresh & stylishなトリオ。ファンク、ソウル、エレクトロニカ、ジャズ、ダンスミュージックなど異なった音楽スタイルをブレンドし、自由な即興がプレイスタイル。Vocal, Africa Bibangはバスクで育ち、その土地で上質な音楽と数々のコラボレーションを経て、2004年にソロでアルバムデビュー。そして地元のテレビ番組にも多数出演し活躍する。そのエモーショナルな歌声はソウル、ブルース、レゲエをベースとし、2007年にはスペインイビサ島にて、ハウスミュージックのヴォーカルを勤める等多岐にわたる。Drum, Didi Lezcano はアルゼンチン出身の超絶技巧のドラマー。インド、パキスタン、ブルガリア、スエコ、モザンビーク、セネガル等様々な民族音楽を吸収し、幾多のバンドにそのグルーブ感抜群のテクニックを捧げて来た。Trumpet, Nicholas Dominic Talvola は10代をアメリカ各地をエレクトロジャズバンドのスクラッチDJとして旅してまわる。その後、19歳の時単身トランペットを片手にスペインへ移住し、トランペッターとしての活動をマドリッド、バルセロナにて飛躍させる。そしてAfricaとDidiが当時メンバーであったラテングラミー賞のノミネートバンド、Calimaはカナリー島での演奏でNicholasと共演した。そこで三人は運命的に出会い、2010年にJFEは結成された。今年イビサ島で幾多のライブ活動をしてきたところ、ナオミキャンベルも彼等に魅せられてJFEに自分の為のプライベートライブパーティを依頼した。バンドメンバーは今年のカヌにもノミネートされた映画、The wine of summerに役者としても出演。彼らの才能は音楽のジャンルだけにとどまらない。The Johnny Freelance Experienceのエキサイトなリズムは観客の心を揺らし、笑顔をもたすでしょう。Enjoy the experience.

<http://thejohnnyfreelanceexperience.wordpress.com> <https://www.facebook.com/TheJohnnyFreelanceExperience/info>

THE BOTTOM LINE NAOGYA

名古屋市千種区今池4丁目7-11 052-741-1620
<http://www.bottomline.co.jp>



斉藤達也

映像作家



21才で単独中国へ渡り各国旅を始める。中国在住時に独学でWEBTVの制作を始め、帰国後にManon Film Worxを設立。2010年5月静岡県静波海岸で開催されたFISHFRY JAPAN'10の取材、サーフィン専門誌Blue.の付録DVDが好評を博す。同年7月に国内で活躍するフィルマーの作品をドキュメント、サーフ、スケートなどオールジャンルで集結させたイベント、MANON FILM FESTIVAL'10を主催。近年ではサーフィンとバックカントリースキーに傾倒し、自然をテーマにしたフィルムの制作を続けている。昨年10月には種子島を舞台にしたサーフフィルム「HEIDI」を発表

senhor kidman

選曲家



人並み外れた嗅覚を持ち、ありとあらゆるレトリックを網羅する究極のヴァイナル・ハンター。国内外を問わずヴァイナル・ディーラーとして活躍し、15年近いディギン・キャリアとコレクターズから選抜されたジャンルレスでディープな選曲は、真のミュージックラヴァーから厚い信頼を受けている。

FOOD

Cafe Dufi

Cafe Dufiは、高い天井と通りの風が心地よいオープンカフェで人気のパスタは20種類以上あり、Bar Dufiの新鮮素材を炭焼場で、豪快に焼き上げるシンプルなスペイン風炭焼き料理がおすすめ。Saigon Dufiはベトナムの路地裏にある屋台を再現したお店。どの店も情緒豊かで、旅をしている錯覚と堪能という味覚を満たしてくれる。今回はこの企画に合わせて、「カレー風クスクス」等、いく種類かの料理と様々な国のビールを用意しました。

無国籍料理 1プレート ¥500 様々な国のビール ¥500~
<http://cafedufi.com>

Dining & Bar Dolce Vita

鶴舞にある欧州料理と種類豊富なワイン、カクテルの店ゆったりしたくつろげる空間です。ワイン ー今回はフランスの優しいワインー各 ¥500~<泡>レオニクス ベティアン(ルーション) <白>ガングラシエ シャンガラ(アルザス)、ルカノン ブラン(コートデュローヌ) <赤>レオニクス ボトルネック(ルーション)、ジャンマルクプリニオ シワワ(ボジョレー) チーズ ー東京神楽坂にある専門店、アルバージュさんからの贈り物ー 各300円~プリー(イル=ド=フランス)、コンテ(ローヌ=アルプ地方) トムオマールドレザン(サヴォワ)

<http://www.la-dolcevita.biz>

Pigeon

イベント等で不定期に出店。熱烈なファンをもつ、シンプルなホットドッグは絶品

プレーンドッグ、チリドッグ 各 ¥500
 葡萄・梨・林檍のサンダリア 各 ¥500

<http://pigeon-records.jp>